

令和6年2月28日

報道関係者 各位

第228回島原市民文化講座の開催について

標記の件について、下記のとおり開催しますので、お知らせします。

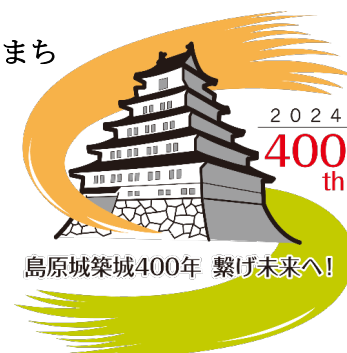
記

1. 名称 島原城築城400年記念事業協賛事業・第228回市民文化講座
「地域社会における伝統芸能の伝承と肥前島原子ども狂言」
(主催：島原市教育委員会・島原文化連盟・島原城薪能振興会・
肥前島原子ども狂言協力会)
2. 日時 3月23日(土) 13時30分～15時30分
3. 場所 森岳公民館 大ホール
4. 講師 第1部 パネル発表「地域社会における伝統芸能の伝承教習の力」
パネリスト 小塩さとみ先生 宮城教育大学 教授 (音楽学)
金光真理子先生 横浜国立大学 准教授 (民族音楽学)
山本百合子先生 福岡教育大学 教授 (日本音楽史)
第2部 座談会「肥前島原子ども狂言の20年間の活動をふりかえって」
登壇者 野村万禄先生 (和泉流狂言方) ほか
ナビゲーター 山本百合子先生
5. 内容 伝統音楽芸能は、日本各地や外国で、どのように伝承教習されているの
でしょうか。開講20周年を迎えた「肥前島原子ども狂言ワークショップ」の活動と成果を振り返り、未来へ繋ぐ意義を考えます。(詳細は添付
のチラシをご参照ください。)

未来へつなぐ島原らしさ 暮らし続けたい、訪れてみたい、魅力あふれるまち



担当：島原市教育委員会社会教育課 社会教育文化班
担当 林田
電話：直通 0957-68-5473
E-mail：shakyo@city.shimabara.lg.jp



地域社会における 伝統芸能の伝承と

祝
20周年
肥前島原子ども狂言
ワークショップ
主催：島原市教育委員会・島原文化連盟・島原城新能振興会・
肥前島原子ども狂言協力会



肥前島原子ども狂言

R6

3 / 23 (土) 13:30
～ 15:30

場所 森岳公民館

※参加申込みは不要です。
直接会場へお越しください。

第1部 パネル発表「地域社会における伝統芸能の伝承教習の力」

パネリスト 小塩さとみ先生 宮城教育大学 教授 (音楽学)
金光真理子先生 横浜国立大学 准教授 (民族音楽学)
山本百合子先生 福岡教育大学 教授 (日本音楽史)

第2部 座談会「肥前島原子ども狂言の20年間の活動をふりかえって」

登壇者 野村万禄先生(和泉流狂言方)ほか、ナビゲーター 山本百合子先生



問い合わせ：島原市教育委員会社会教育課 電話 0957-68-5473

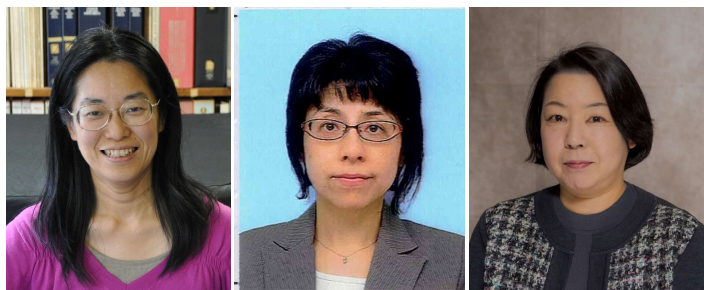
地域社会における伝統芸能の伝承と肥前島原子ども狂言

3月23日(土) 13時30分～ 森岳公民館

第1部 パネル発表

地域社会における伝統芸能の 伝承教習の力

伝統音楽芸能は、日本各地や外国でどのように伝承教習されているのでしょうか。コロナ禍を含めたこの数年、地方都市や海外における地域性の豊かな伝統音楽舞踊の伝承教習例(徳島の阿波踊り、インドネシアのバリガムランとバリ舞踊の伝承の様子)を調査してきた3名の研究者が、肥前島原の子ども狂言と比較してご紹介し、それぞれの特色や背景と、地域社会における伝統芸能の伝承教習の力について考えます。



小塩さとみ先生

金光真理子先生

山本百合子先生

※ 本発表の内容には、科学研究費助成事業「伝統芸能における身体技法の教授法研究～実践を通じた多文化音楽理解に向けて～」(2019～2024年度)の成果が含まれています。

肥前島原子ども狂言

「春の狂言会」が開催されます。

日時: 3月24日(日) 15時開演

会場: 島原文化会館大ホール

入場無料です。

詳しくは、市HPを
ご覧ください →



第2部 座談会

肥前島原子ども狂言の20年間の 活動をふりかえって

第1部の内容をふまえ、肥前島原子ども狂言が20年間に辿ってきた活動の道筋と様々な成果について、関係者や卒業生による座談会形式で深掘りします。そして、これを未来に繋ぐ意義、未来に繋ぐために必要なことを、市民の皆さんと共に考えます。



野村万禄先生 <プロフィール>

1966年、東京に生まれる。故・野村万蔵(芸術院会員・人間国宝)の孫。伯父の初世野村萬(人間国宝)に師事。2000年、二世野村万禄を襲名。野村万蔵家別家を興す。現在、福岡在住。九州各地に稽古場を開設。一般にも広く門戸を開き、福岡を拠点に狂言の普及と発展に努めている。2004年より肥前島原子ども狂言ワークショップの講師を務める。社団法人能楽協会三役会所属。重要無形文化財総合指定保持者。平成22年度福岡県文化賞(奨励賞)受賞。福岡教育大学、筑紫女学園大学、大分大学、非常勤講師。

【肥前島原子ども狂言のご紹介】

島原では昔から、島原城で能と狂言が行われていました。昭和58年には、「島原城新能」が復活し、毎年秋に開催されています。「肥前島原子ども狂言ワークショップ」は、この城下町・島原ならではの伝統文化をぜひ子どもたちにも伝えようと、始まったものです。城下町・島原の歴史や文化を学び継承していくために、能と共に伝わった狂言を体験しながら、和泉流狂言師・野村万禄先生の指導のもと、島原城新能の舞台での発表を目標に、毎年稽古を重ねています。

島原城新能の舞台の他にも、「火山都市国際会議島原大会」や「第5回ジオパーク国際ユネスコ大会」など、海外のお客様が参加される大きな舞台でも、発表を行ってきました。

この継続した地域の伝統文化継承活動で、これまでに「島原半島文化賞」や「長崎県地域文化章」を受賞いたしました。